



Notify Addon セットアップ ガイド

概要

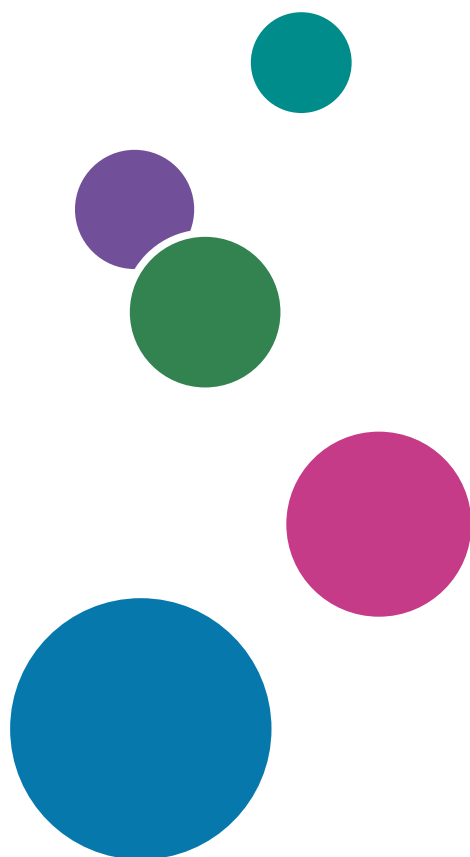
1

インストールと設定

2

Version 2.4

本書に記載されていない情報については、製品のヘルプ・システムを参照してください。



目次

1 概要

2 インストールと設定

TotalFlow BatchBuilder Notify Addonをインストールする	5
TotalFlow BatchBuilder Notify Addonを設定する	6
HTTPSプロトコルを使用してTotalFlow BatchBuilder Notify Addonを設定する	8

索引

1. 概要

TotalFlow BatchBuilder Notify Addonは、ジョブが対応プリンターで印刷されたときにTotalFlow BatchBuilderシステムに自動的に通知するWindowsサービスアプリケーションです。TotalFlow BatchBuilderの出力ホットフォルダーに含まれているジョブが対応プリンターで印刷された場合は、Notify Add Onアプリケーションはシステムのジョブ状態を「印刷済み」に更新します。

TotalFlow BatchBuilder Notify Addonアプリケーションは、個別の機能です。体験版の試用期間が終了した後にTotalFlow BatchBuilder Notify Addon機能を使用するには、個別にライセンスを購入してください。

TotalFlow BatchBuilder Notify Addon機能は個別にインストールされ、複数台のプリンターで使用する設定ができます。ジョブが対応するプリンターで印刷されたときは、TotalFlow BatchBuilder Notify AddonがSNMPプロトコル経由でTotalFlow BatchBuilderシステムに通知を送信し、対応するジョブが「印刷済み」になります。

TotalFlow BatchBuilder Notify Addonは、InfoPrint 5000プリンターだけでなく、XMLとSNMPプロトコルに対応しているプリンターでも使用できます。また、カスタムアドオンは、プロフェッショナルサービスでご利用いただけます。

2. インストールと設定

- TotalFlow BatchBuilder Notify Addonをインストールする
- TotalFlow BatchBuilder Notify Addonを設定する

TotalFlow BatchBuilder Notify Addonをインストールする

TotalFlow BatchBuilder Notify Addonをインストールするには、以下の操作を行います。

1. Windowsに管理者としてログインします。
2. TotalFlow BatchBuilderのインストールメディアをドライブに挿入します。
3. インストールディスクの**Setup**フォルダーに移動し、64ビットシステムにはsetup_NotifyAddon_x64.exeを実行します。
インストーラーの言語を選択し、[OK] をクリックします。

[概要] ダイアログが表示されます。

4. [次へ] をクリックします。
[使用許諾契約] ダイアログが表示されます。

5. [使用許諾契約] ダイアログにおいて、

1. 使用許諾契約書を読みます。
2. [使用許諾契約書の条項に同意する] をクリックします。
3. [次へ] をクリックします。

[インストールフォルダーを選択] ダイアログが表示されます。

6. [インストールフォルダーを選択] ダイアログにおいて、
デフォルトインストールフォルダーに設定してもそのフォルダーが存在しない場合は、インストーラーによって作成されます。

デフォルトインストールフォルダーを変更するには、[選択] をクリックします。
TotalFlow BatchBuilder Notify Addonをインストールするフォルダーに移動し、[OK] をクリックします。

デフォルトインストールフォルダーをリストアする場合は、[デフォルトフォルダーを復元する] をクリックします。

TotalFlow BatchBuilder Notify Addonのインストールパスにオペレーティングシステムと同じコードの文字のみが含まれていることを確認してください。

[次へ] をクリックします。

[ショートカットフォルダーを選択] ダイアログが表示されます。

7. 製品アイコンの作成先を選択します。

新しいプログラムグループ

新しいプログラムグループの名前を編集できます。

既存のプログラムグループ

リストからプログラムグループを選択します。

[スタート] メニュー

スタートメニューにショートカットアイコンを作成します。

デスクトップ

デスクトップにショートカットアイコンを作成します。

クイック起動バー

クイック起動バーにショートカットアイコンを作成します。

その他

ショートカットアイコンを配置するフォルダーパスを入力するか、[選択] をクリックし、手動でフォルダーを選択します。

アイコンを作成しない

ショートカットアイコンを作成しません。

↓ 補足

全てのユーザーにアイコンを作成する場合は、[全てのユーザーにアイコンを作成] にチェックマークを付けます。

[次へ] をクリックします。

[プリインストールサマリー] ダイアログが表示されます。

- [プリインストールサマリー] ダイアログの情報を確認し、[インストール] をクリックします。

TotalFlow BatchBuilder Notify Addonソフトウェアがインストールされます。

- [インストール完了] ダイアログにインストールレポートが表示されます。[完了] をクリックし、TotalFlow BatchBuilder Notify Addonのインストール手順を終了します。

- TotalFlow BatchBuilder Notify Addonを設定します。P.6 「[TotalFlow BatchBuilder Notify Addonを設定する](#)」を参照してください。

- TotalFlow BatchBuilder Notify Addonサービスを開始します。

↓ 補足

構成設定の変更を適用するには、TotalFlow BatchBuilder Notify Addonサービスを再起動してください。

TotalFlow BatchBuilder Notify Addonを設定する

TotalFlow BatchBuilder Notify Addonを設定するには、config.ini構成ファイルを編集してください。

ウィンドウにログインし、[スタート] → [すべてのプログラム] → [RICOH] → [TotalFlow BatchBuilder - Notify Addon] に移動します。[構成ファイルを開く] をクリックし、構成ファイルを開きます。

config.ini設定ファイル：

```
[General]
pluginsPath=<installationDirectory>/plugins
dataRetention=30

[Subscriber]
```



```
url=http://server.address:port/BatchBuilder/externalApi
```

```
[Device]
name=example-XML-printer
actionName=markJobAsPrinted
plugin=XML
xsl=<filepath>
pollingInterval=20
location=<filepath>
```

```
[Device]
name=example-Infoprint-printer
actionName=markJobAsPrinted
plugin=INFOPRINT5000
address=<hostname>
pollingInterval=10
```

```
[Device]
name=example-Ricoh-SNMP-printer
actionName=markJobAsPrinted
plugin=SNMP
address=<hostname>
pollingInterval=10
readCommunityName=public
```

を編集できます。

[General] セクション

`dataRetention`の値を指定すると、保持日数を設定できます。`pluginsPath`にはディスクのプラグインの保存先を指定します。

[Subscriber] セクション

TotalFlow BatchBuilderシステムにURLを指定できます。`server.address`はTotalFlow BatchBuilderシステムがインストールされているコンピューターのホスト名またはIPアドレスです。

複数のTotalFlow BatchBuilderクライアントでTotalFlow BatchBuilder Notify Addonを使用する場合は、新しいSubscriberセクションを追加し、TotalFlow BatchBuilderがインストールされている各コンピューターのURLを指定できます。TotalFlow BatchBuilder Notify Addon とTotalFlow BatchBuilderは、同じバージョンを使用してください。

[Device] セクション

情報を収集するプリンターを設定できます。プリンターの固有名とプラグインファイル種類を指定します。

使用可能なプラグインファイル種類は3つあります。

1. 指定されたデフォルトのプラグイン種類はXMLです。このプラグイン種類はXML ファイルを生成するプリンターで使用します。

この種類のプリンターは印刷された各ジョブに個別のXMLファイルを作成します。Notify Addonアプリケーションを設定すると、プリンターで作成されたXMLファイルを保存してホットフォルダーに配置できます。ホットフォルダーの場所にパス

と、TotalFlow BatchBuilder Notify Addonで新しいXMLファイルのホットフォルダーをスキャンする時間間隔を設定します。

XSLファイルのファイルパスも指定できます。XSLファイルは、既存の.XSDスキーマファイルに基づいてXMLファイルをプリンターからTotalFlow BatchBuilderシステムで処理できる別のXMLファイル形式に変換するために使用します。通知を受信すると、使用するTotalFlow BatchBuilderシステムで対応するジョブが【印刷済み】になります。

2. SNMPプラグイン種類はRICOH Job MIBからSNMP経由で通信に対応するプリンターモデルで使用します。ポーリング間隔を設定した場合は、TotalFlow BatchBuilder Notify Addon機能がプリンター状況とプリンタージョブリストを確認します。ジョブが印刷されたときは、Notify AddonがSNMPプロトコルを経由してTotalFlow BatchBuilderシステムに通知を送信すると、使用するTotalFlow BatchBuilderシステムで対応するジョブが【印刷済み】になります。
3. InfoPrint5000プラグイン種類はInfoPrint 5000プリンターモデルで使用します。Notify Addonはプリンターのジョブログでプリンターのイベントを検証します。ジョブが印刷されたときは、ジョブログに情報が書き込まれ、Notify AddonはTotalFlow BatchBuilderにInfoprintの私有通信プロトコルに通知を送信します。TotalFlow BatchBuilderシステムでジョブに【印刷済み】になります。

アドレスには印刷システムのIPまたはホストアドレスを指定します。

★重要

TotalFlow BatchBuilder Notify Addonでは、config.ini構成ファイルに各プリンターの新しい [Device] セクションを追加することでプリンターを設定できます。

HTTPSプロトコルを使用してTotalFlow BatchBuilder Notify Addonを設定する

Ricoh TotalFlow BatchBuilderは、HTTPSセキュリティープロトコルの使用をサポートしています。HTTPSプロトコルは、サーバーとWebブラウザのユーザーインターフェイス間に暗号化されたリンクを確立することで、保護されたネットワーク通信を容易にし、すべての送信データのプライバシーと整合性を保証します。

HTTPSセキュリティープロトコルを使用するTotalFlow BatchBuilderシステムと通信するために、HTTPSセキュリティープロトコルを使用するようにTotalFlow BatchBuilder Notify Addonを設定する必要があります。

Windows 10でHTTPSを有効にする手順は、以下のとおりです。Windowsの他のバージョンでは多少異なります。

デフォルトのインストールパスを変更した場合は、C:¥Program Files¥RICOH ¥TotalFlow BatchBuilder - NotifyAddon¥を、この手順でTotalFlow BatchBuilder Notify Addonをインストールしたパスに置き換えます。

HTTPSを有効にするには、TotalFlow BatchBuilder subscriber用に作成したデジタル証明書をインポートする必要があります。

1. デジタル証明書を入手し、TotalFlow BatchBuilder Notify AddonがインストールされているコンピューターのC:¥Program Files¥RICOH¥TotalFlow BatchBuilder - NotifyAddon¥jre¥binに保存します。

2. RICOH TotalFlow BatchBuilder Notify Addonがインストールされているコンピューターで、管理者としてコマンドプロンプトウィンドウを開きます。次のコマンドを使用して、Java keytoolが含まれているフォルダーに移動します。

```
cd "C:\Program Files\RICOH\TotalFlow BatchBuilder - NotifyAddon\jre\bin"
```

3. 生成したキーストアファイルをJavaセキュリティー証明書にインポートするには、次のコマンドを実行します。

```
keytool -import -alias selfsigned -keystore "C:\Program Files\RICOH\TotalFlow BatchBuilder - NotifyAddon\jre\lib\security\cacerts" -storepass "changeit" -file "C:\Program Files\RICOH\TotalFlow BatchBuilder - NotifyAddon\jre\bin\selfsigned.crt"
```

selfsigned.crtは証明書ファイル名です。

4. config.iniファイルを設定する

1. C:\Program Files\RICOH\TotalFlow BatchBuilder - NotifyAddon\config.iniを以下のとおり修正します。

config.ini内のSubscriberセクションの [url] フィールドで、

1. ウェブアドレス行で、httpをhttpsに置き換えます。
2. ウェブアドレス行で、19080を19443に置き換えます。

5. TotalFlow BatchBuilder Notify Addonサービスを再開します。

証明書が有効期限切れになりそうな時は、HTTPSを有効にする手順を繰り返してください。また、インストール処理を実行するたびにこの手順を繰り返してTotalFlow BatchBuilder Notify Addonを再インストール、アップグレード、修復する必要があります。

↓ 補足

- ユーザーがシステムにアクセスする場合、ユーザー自身がアクションを起こすことなく、セキュアプロトコルにリダイレクトされます。しかし、自己署名証明書を使用するかまたは証明書がサーバーと明確に関連付けられていない場合、ウェブブラウザは、証明書は信頼されていないと警告を出します。

索引

H

HTTPS

有効にする..... 8

あ

インストール中

Notify Addon 5

か

概要..... 3

さ

設定する

Notify Addon 6

設定ファイル

config.ini 6

た

TotalFlow BatchBuilder Notify Addon 3

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1-3-6 〒143-8555
<http://www.ricoh.co.jp/>



お問い合わせ

お買い上げいただきました弊社製品についての操作方法に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

転居の際は、販売店にご相談ください。転居先の最寄りの販売店をご紹介します。